

☒ ソフト事業のみ
 ☐ ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和4 年度

市町村名	三郷市		
提案事業名	江戸川交流拠点（三郷駅～江戸川河川敷）の活性化方針検討事業		
事業期間	令和4 年度	～	令和4 年度
事業の必要性、目的	三郷駅（武蔵野線）・みさとの風ひろば（県道三郷幸手自転車道）・三郷緊急用船着場の3拠点が徒歩約5分圏に集まるエリアを「江戸川交流拠点」と位置づけ、その認知を広げるために平成23年度から船着場フェスティバルを開催してきた。また、同エリアは千葉県流山市と共同開催する花火大会（商工会主催）の会場でもあるが、両イベントとも、コロナ禍により2年連続で中止となった。周辺商業の集客上の課題が生じている。 「ウィズコロナ」における商業・レジャーの場として江戸川河川敷を活用したいという周辺商店会等の意欲もあり、地元商店・商工会・観光協会・河川敷占有者等との協議体を形成して「かわまちづくり支援制度（国土交通省）」に係る計画申請を目指すとともに、令和4年度は、三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針を策定し、その実証実験として新たなフェスティバルを実施する。		
成 果 指 標	（成果を検証する指標） 協議会委員の期待度等		
	（成果検証の具体的な方法） 策定した指針について、協議会委員にアンケートを実施し、集客性・採算性・地域活性化への貢献度など整備後のアウトカムへの期待値を評価する。		
	（上記の指標を設定した理由） 方針策定にかかる評価であるため客観的な成果指標が設定できないので、整備後のアウトカムへの期待値で評価することとする。		
	（成果の目標値）		
	現状値 （ 年 月現在）		目標値 （4年10月時点）
	5段階評価で特定の項目における高評価（4以上）の割合が70%以上		
	（施設建設等の場合）		
年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
住民への公表方法及び特記事項	令和4年度対象エリアについては地元対話の中で進める。また、河川でつながる他の市域に今後波及させるため、ホームページ等で協議過程を公表する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和4年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）	
①	三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針検討業務	ハード ソフト 間接補	エリアの活性化施策を検討するための地元協議会（地元商店・商工会・観光協会・河川敷占有者等が参加）を運営し、三郷駅周辺江戸川河川敷の活性化方針を策定する。	5,120
②	河川敷イベント（リニューアル実証実験）	ハード ソフト 間接補	地元協議会（市を構成員に含む）の企画・運営により、イベント（河川敷での飲食提供、水辺アトラクション等）を実施する。	3,025
③		ハード ソフト 間接補		
④		ハード ソフト 間接補		
⑤		ハード ソフト 間接補		
			合計	8,145

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	市の政策間連携（都市政策・交通政策・商工振興政策・スポーツ振興政策等）を密にし、国（河川管理者）と連携するとともに、地元事業者との対話を重視して協議を進める。
成果指標の達成見込み	達成可能と見込む

（記入上の注意）

【成果指標の設定】

- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業（構成事業）について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に（ ）書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。